

翔鸞幼稚園だより 10月

令和4年10月1日 京都市立翔鸞幼稚園

園長 村山 得太朗



運動会に向けて

寒暖の差が激しく、体調管理の難しい日が続いています。子どもたちは10月22日(土)の運動会に向けて、運動遊びに取り組んでいます。登園後は、「ちょっとだけ体操」でウォーミングアップ、なかなか楽しい体操で、少し動いたり、伸びたり、怒ったり、笑ったりします。「しゃがむ→止まる」「ひらく→ひらく」など、一緒にやるのが大変です。お家でも一緒にやってみてください。その後は、かけっこをしています。走るたびにかっこよく、早く走れるようになってきています。そら組ではリレーやしっぽ取りが始まっています。リレーは、走り方やバトンの渡し方などを試しながら、応援もしながら楽しんでやっています。



園内研究より

今年度、翔鸞幼稚園では、園内の研究主題を「ときめき・ひらめきを生む保育を目指して」とし、子どもたちが心を動かして「ときめいたり、ひらめいたり」して夢中に遊ぶときのエピソードをもとに子どもたちが将来に渡って必要となる様々な「資質・能力」を育んでいくよう、環境構成や援助について研究を積み重ねています。門の近くに掲示してありますので、登降園の際、ご覧ください。



10月の行事予定

- 4日(火) 歯科検診
 - 7日(金) 体重測定
 - 12日(水) 入園願書交付・受付
 - 14日(金) 月間絵本の日
 - 16日(日) ノーテレビノーゲームデイ
 - 22日(土) 運動会(小学校体育館)
 - 24日(月) 代休・諸費用最終納入日
 - 27日(木) 園外保育
 - △にじ・そら…鉄道博物館
 - △ひかり…船岡山
 - 28日(金) 誕生日会
 - 31日(月) 幼稚園大会説明会(そら)
- ◆11月の主な予定
- 24日(木) 幼稚園大会(そら)
※にじ組・ひかり組は休園です。
 - 29日(火) 園外保育(全学年 動物園)
- ※11月下旬より個人懇談を予定しています。

令和5年度入園募集

今年度は10月12日(水)~10月25日(火)の期間に入園願書交付・受付を行います。お知り合いの方で未就園のお子様がおられましたら、ご紹介いただければありがとうございます。よろしくお願ひいたします。途中入園も随時受け付けています。

子どもたちの今と未来のため、社会のあらゆる場で「京都はぐくみ憲章」を実践しましょう!



遊びや運動と脳の発達について

(1) 「遊びと運動が脳を育てる」

～脳幹について～

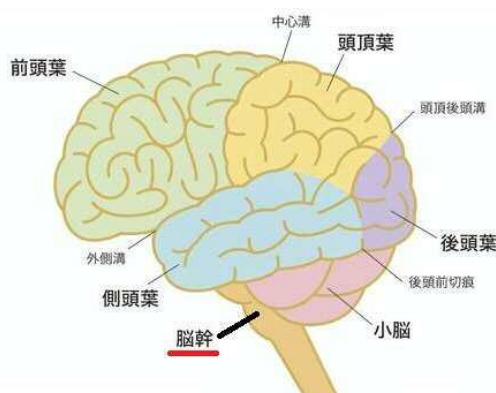
①脳幹は、情報の入り口でフィルターである。

→体の各部分の感覚が情報として神経から脳に伝わってくる場所を**脳幹**といい、**意識するかしないかの整理や仕分け**をしています。例えば、耳には本当は様々な音が入っているはずです。エアコンの音や車の音、生活音などです。しかし、人と話をしているときには大きい音でないかぎり、邪魔にはならず、必要な内容だけを聞き取れるようになっています。

②**脳幹**が働くことによって情報が統合される。

→脳幹がうまく働くかないと体の様々な感覚が統合されず、運動が苦手になったり、姿勢やバランスが悪くなったりするようです。

③**脳幹**に刺激を与えるには、様々な感覚を体感しなければなりません。例えば、ブランコで揺れる、トランポリンで跳ぶなどでバランスをとったりすることです。また、力を入れて筋肉や関節を使うこと。例えば、鉄棒や木登り。そして、皮膚の感覚を通しての刺激、粘土をこねたり、砂遊びをしたり、泡で遊んだりということです。このように**脳幹に刺激を与えることによって脳の機能が発達していく**ようです。



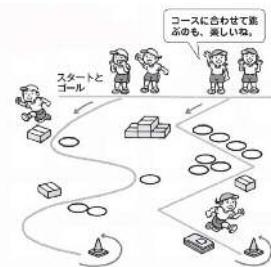
(2) 「幼児の運動指針について」

①遊びは**内発的動機づけ**によって行われる。

内発的動機づけとは「その遊びや運動そのものに魅力を感じている。」ということで、まさに**主体的に遊んでいる**様子です。例えば、「走る」ことが楽しいので何度も走って遊ぶのは、内発的動機づけと言えますが、1周走ったらシールを貼ってあげるという約束で何度もシールをもらうために走るのは外発的動機づけになり、遊んでいることにはならないということです。ここには2つのポイントがあり、「自分で決めている」ということと「自分はできる」ということです。子どもたちに上手にはたらきかけ、**主体的に遊ばせ、できることを認めていく**ことが大切だと思います。

②**幼児期の運動は神経系を発達させる** (1) 参照

一つの運動遊びではなく、できるだけ**多種多様な運動遊び**を経験する中で神経系が発達し、運動を調整する能力が向上するようです。例えば、「走る」という動作でも直線やジグザグ、カーブなど、走る方向を変えてみたり、速くや遅くなど、スピードを変えてみたり、横(後ろ)向きや駆け上がりをやってみたりするといいと思います。



③運動遊びに気が向かない子どもに対しては…

少しでもできることから始めて、できることを増やしていったり、思わずやってみたくなるような工夫をしたり、少しでもできたところをほめて自信を持たせたりしながら、やってみてはいかがでしょうか。

※やはり、この時期は**遊び**、特に**体を使った遊び**が大切で、それが**脳幹**(脳の情報の入口)の発達を促し、脳の土台をつくると言われています。そして、それが、**将来の思考力や認知能力の向上に役立つ**と言われています。また、運動遊びを通して**非認知能力**(やる気ややり抜く力、粘り強さなど)も育っていくと言われています。